

「宝本」エピソードを募集します。 ～「心に残る1冊の本との出会い」～

県立図書館

「宝本」とは？

絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊を県立図書館では「宝本」と呼んでいます。

「宝本」は成長に応じて、次のように広がっていきます。

- 「おやこ一冊読書」によるおやこのふれあいの中で生まれます。
- 楽しみながら読み、感動することで生まれます。
- じっくりと読み、自分を見つめることで生まれます。

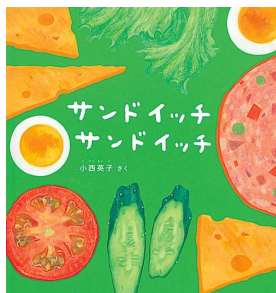
深めよう親子の絆「おやこ一冊読書」

「おやこ一冊読書」は、一冊の本（物語）を通して親と子の絆をしっかりとつくりましょうという取組です。たくさんの本と出会うことはとても素晴らしいことですが、親と子が好きな物語について語り合えるということもまた、すてきなことです。

親子が愛する本は、親子の思い出そのもの。この機会に是非そんな一冊を見つけてください。

例えばこんなエピソードが届きました。

【サンドイッチ サンドイッチ



小西英子/作 福音館書店】
以前、夫の仕事の関係で甕島に住んでいた頃、図書館も近くになく、本屋もない中で「こどものとも」を定期購読し、毎月どんな本が届くか楽しみにしていました。この「サンドイッチ

サンドイッチ」が届いたときはページをめくる度に美味しそうなサンドイッチが作られていく様子に親子でワクワクしていました。読むと、サンドイッチを作って公園に持って行って食べていた記憶がよみがえります。既に成長した息子たちですが野菜やハム・チーズに卵をはさんだサンドイッチが今でも大好きです。

「宝本」エピソードの募集について

【応募内容】

- 親子や家族等にとって、宝本（大好きな本）になるまでのエピソードなど
- 友人・知人・恩師等との宝本（思い出の本）についてのエピソードなど
- 自分にとっての宝本（大切な一冊）についてのエピソードなど

【応募方法】

- **FAX, 郵送, Eメール, または持参**
※ 児童・生徒の作品については、学校でとりまとめて学級数×3点程度の出品となるようにご協力ください。
- ◇ 県立図書館ホームページにも応募用紙を掲載しています。



応募された作品は県立図書館に掲示します。

展示期間：令和2年11月5日（木）～

令和2年12月11日（金）

展示場所：県立図書館玄関ホール

※ 応募作品の著作権は県立図書館に帰属し、企画の展示や広報に使用させて頂くことを御理解ください。なお、応募作品を広報等に使用させていただく場合には、いただいたエピソードのみを掲載いたします。

※ 応募された作品は返却いたしませんので、必要に応じて複写の上、原本を送付ください。

はんこで世界に1冊の「宝本」を！

県立図書館では「宝本」認定の大きなはんこも用意しています。我が家の、私の「宝本」をぜひ県立図書館（児童文化室）に持参ください。本の見返しに「ドーン！」と押しつけて差し上げます。



問合せ・申込み

鹿児島県立図書館奉仕課企画指導係
TEL 099-224-9514